

# 合併に係る事前開示書類

2021年8月5日

東京都品川区上大崎二丁目13番30号  
株式会社オークファン  
代表取締役社長 武永 修一

当社は、2021年9月7日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社とし、株式会社承知しました（東京都品川区上大崎二丁目13番30号）を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行うことにいたしましたので、会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条の規定により、下記のとおり、吸収合併契約の内容その他同条各号に掲げる事項を記載した書面を備え置くこととします。

## 記

### 1 吸収合併契約の内容

別添1のとおりです。

### 2 合併対価の相当性に関する事項

本合併による株式その他の金銭等の交付及び割当てはありません。当社は、吸収合併消滅会社である株式会社承知しましたの発行済株式の全てを所有しているため、この取扱いは相当であると考えております。

### 3 新株予約権の対価の定めに関する事項

吸収合併消滅会社である株式会社承知しましたは新株予約権を発行しておりませんので、該当事項はありません。

### 4 吸収合併消滅会社の計算書類等に関する事項

別添2のとおりです。

### 5 吸収合併消滅会社の最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

### 6 吸収合併消滅会社の最終事業年度の末日後の重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

- 7 吸収合併存続会社の最終事業年度の末日後の重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

- 8 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本合併の効力発生後の当社の資産の額は、負債の額を十分上回ることが見込まれます。また、本合併後の当社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、その債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておりません。

よって、本合併後において、当社の債務につき、履行の見込みがあると判断いたします。

以 上

(別添1)

## 吸収合併契約書

株式会社オークファン（以下「甲」という。）及び株式会社承知しました（以下「乙」という。）は、甲及び乙の合併について、次のとおり契約（以下「本契約」という。）を締結する。

（吸収合併）

第1条 甲及び乙は、甲を吸収合併存続会社（会社法（平成17年法律第86号）第749条第1項に規定する吸収合併存続会社をいう。）と、乙を吸収合併消滅会社（同項第1号に規定する吸収合併消滅会社をいう。）として、合併する。

（金銭等の交付及び割当て等）

第2条 甲は、第1条の規定による合併（以下「本合併」という。）に際し、乙の株主に対して、金銭その他の財産の交付及び割当てを行わない。

2 甲の資本金及び資本準備金の額は、本合併によっては、変動しない。

（効力発生日）

第3条 本合併は、2021年9月7日にその効力を生ずる。

（財産の管理）

第4条 甲及び乙は、本契約の締結の日（以下「本契約締結日」という。）から前条に規定する日（以下「効力発生日」という。）までの間、善良な管理者の注意をもってその業務を執行し、その財産を管理しなければならない。

（従業員の処遇）

第5条 甲は、乙が効力発生日において従業員を有するときは、その従業員を雇用する。

2 前項の規定により雇用した従業員の勤続年数その他の人事評価に関する事項は、甲及び乙が協議の上、決定する。

（契約内容の変更及び解除）

第6条 本契約締結日から効力発生日までの間において、天災その他のやむを得ない事由により、甲若しくは乙の経営若しくは財産の状況に重大な変動が生じたとき又は本合併をすることに重大な支障が生じたときは、甲及び乙は、協議の上、本契約の内容を変更し、又は解除することができる。

（協議事項）

第7条 本契約に関する疑義及び本契約に定めのない事項については、甲及び乙は信義誠実をもって協議の上、決定するものとする。

本契約の成立を証するため契約書を1通作成し、甲及び乙がそれぞれ記名及び押印の上、甲は原本を、乙はその写しを保有する。

2021年7月27日

（甲）

東京都品川区上大崎二丁目13番30号  
株式会社オークファン  
代表取締役 武永 修一

（乙）

東京都品川区上大崎二丁目13番30号  
株式会社承知しました  
代表取締役 平澤 建

## 事業報告

2020年5月28日から  
2021年4月30日まで

### 1 主要な事業内容並びに事業の経過及びその成果

近年では、SDGs(※)に始まり、世界中で廃棄ロス問題が大きくクローズアップされています。日本では年間約 22 兆円(平成 28 年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算)の商品が、そして世界では年間 100 兆円の商品が廃棄されております。

※ Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)。2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき目標

この課題に対して、オークファングループは正面から向き合い解決すべく、「RE-INFRA COMPANY」と自身を再定義しました。「RE」とは、すでにあるものを捉え直し、より良く組み替え、再構成するという意味を含んでおり、オークファングループは「RE」に関する様々な機能を繋げ統合することで、モノとそれに関わるヒトの価値を、再配分・最適配分し、廃棄ロスという社会問題を解決することに挑んでおり、祖業である価格比較メディア(aucfan.com)の運営から、BtoBの卸プラットフォーム(NETSEA)、EC一括運営効率化ツール(タテンポガイド)、寄付型ショッピングサイト(otameshi)など事業拡大してまいりました。海外展開も本格的に開始しております。

事業においては、創業来培った売買データとAI技術により商品の時価を可視化し、企業在庫の価格と販路を最適化する予測モデルを構築した在庫価値ソリューション事業、中小企業・副業/個人事業主を中心とした小売・流通業向け流通を支援する商品流通プラットフォーム事業により、トータルEC支援ソリューションを展開することにより、中長期的には、各サービスが担う「RE」に関する様々な機能をつなげ統合することで、企業在庫の価値算定から再流通までをワンストップで可能にするインフラを構築し、巨大な廃棄ロス問題の解決に挑んでまいります。

当社は、独自のKPI管理のノウハウを有しており、オークファングループへの参入前からオークファングループの事業全般におけるより一層の事業の拡大のためのサービスを提供した結果、当事業年度の売上高は17,546千円、営業利益7,582千円、経常利益7,582千円、当期純利益4,997千円となりました。

### 2 主要な営業所

当社の主要な営業所は、本店(東京都港区浜松町二丁目2番15号浜松町ダイヤビル2F)となっております。

### 3 使用人の状況

従業員数	増減
0 名	— 名

#### 4 対処すべき課題

近年では、SDGs に始まり、世界中で廃棄ロス問題が大きくクローズアップされています。日本では年間約 22 兆円の商品が、そして世界では年間 100 兆円の商品が廃棄されております。

この課題に対して、オークファングループは正面から向き合い解決すべく、「RE-INFRA COMPANY」と自身を再定義しました。「RE」とは、すでにあるものを捉え直し、より良く組み替え、再構成するという意味を含んでおり、オークファングループは「RE」に関する様々な機能を繋げ統合することで、モノとそれに関わるヒトの価値を、再配分・最適配分し、廃棄ロスという社会問題を解決することに挑んでおります。

オークファングループが対処すべき課題は次のとおりであり、独自の KPI 管理のノウハウを有している当社は、これらに係る課題に対処してまいります。

##### ① 収益基盤の更なる強化・多様化

オークファングループは、オークション等相場比較メディア「オークファン」を創業以来の基盤事業として展開し、広告収益の拡大から始まり、有料会員化施策により、収益基盤を構築してまいりました。

一方、オークファングループに関連する EC 市場の変化のスピードは激しく、従前のネットオークションだけでなく、フリーマーケットアプリやハンドメイドマーケットなど、新たな売買の場が次々と現れております。これに呼応し、これらの場を利用するユーザの属性も従前とは大きく異なっており、オークファングループにおいても、今後の更なる収益基盤の強化のために、サイトの機能性向上及びデータの拡充、新規サービスの立ち上げなどを通じて、利用者の拡大・利便性向上を図ってまいります。

同時に、株式会社 Syna Biz の運営する「NETSEA」、「リバリュー BtoB モール」を通じて得たノウハウを活用し、付加価値サービスを積極的に展開することで事業領域の拡大を図ってまいります。

##### ② BtoB ビジネスの収益モデル構築

オークファングループでは、「オークファン」の保有する膨大なデータと、商品売買に高い関心を持つ 80 万人以上のユーザを核とした事業展開を行っております。「NETSEA」、「リバリュー BtoB モール」などの BtoB マーケットプレイス事業を活用した商品仕入・販売に加え、複数サイト出品同期サービス「タテンポガイド」や、クラウドソーシングを活用した営業支援を行う株式会社スマートソーシングなど、オークファングループの資産を一層活用し、一気通貫のソリューションメニューを整備・強化してまいります。

これらを通じて、オークファングループからユーザへ提供する付加価値の向上及び新規コンテンツやサービスの拡充を通して、新しい収益モデルを構築していく方針であります。

##### ③ システム技術・情報セキュリティの継続的な強化

オークファングループの事業は、インターネット上でのサイト運営を中心としており、サービス提供に係るシステムを安全・安定に稼働させることが重要な課題であると認識しております。そのため、利用者数増加に伴う負荷分散や利用者満足度の向上を目的とした新規サービス・機能の開発等に備え、設備の先行投資を継続的に行ってまいります。

#### ④ 多様な売買データの整備・拡充

オークファングループが保有するネットオークション・ネットショッピングを中心とする約 10 年分の売買データは、分析・加工を経てオークファングループユーザに利用されております。これらのデータは個人・法人を問わず、利用者の増加とともに、その利用方法も多岐に亘ってきております。オークファングループではこれらのユーザニーズの多様化に応えられる分析ノウハウ・加工技術を加速度的に向上させるため、専門部署においてこれらのデータの整備を積極的に進めてまいります。

#### 5 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 700,000 株
- (2) 発行済株式の総数 7,000 株
- (3) 株主数 1 名
- (4) 株主名

株主名	持株数	持株比率
株式会社オークファン	7,000 株	100 %

#### 6 親会社及び子会社の状況

当社は、株式会社オークファンの完全子会社となっております。

以 上

株式会社承知しました

## 貸借対照表

令和 3 年 4 月 30 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 14,758,054】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 2,760,692】</b>
現金及び預金	12,863,434	未払金	141,186
売掛金	1,891,120	預り金	34,806
前払費用	3,500	未払法人税等	2,584,700
		負債の部合計	2,760,692
		純資産の部	
		<b>【株主資本】</b>	<b>【 11,997,362】</b>
		(資本金)	( 7,000,000)
		資本金	7,000,000
		(利益剰余金)	( 4,997,362)
		繰越利益剰余金	4,997,362
		純資産の部合計	11,997,362
資産の部合計	14,758,054	負債及び純資産の部合計	14,758,054

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
売 上 高 1	17,546,416	17,546,416
売 上 総 利 益		( 17,546,416)
【販売費及び一般管理費】		
役 員 報 酬	5,170,000	
給 与 手 当	900,000	
法 定 福 利 費	609,274	
厚 生 費	146,171	
減 価 償 却 費	289,652	
賃 借 料	435,380	
事 務 用 品 費	4,059	
消 耗 品 費	55,925	
旅 費 交 通 費	1,936,512	
手 数 料	121,370	
租 税 公 課	164,951	
交 際 接 待 費	33,930	
通 信 費	71,940	
通 勤 交 通 費	25,200	9,964,364
営 業 利 益		( 7,582,052)
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	10	10
経 常 利 益		( 7,582,062)
税 引 前 当 期 純 利 益		( 7,582,062)
法人税、住民税及び事業税		2,584,700
当 期 純 利 益		( 4,997,362)



株式会社承知しました

## 株主資本等変動計算書

自 令和 2 年 5 月 28 日 至 令和 3 年 4 月 30 日 単位 円

	株主資本			株主資本 合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金			
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高					
当期変動額					
新株の発行	7,000,000			7,000,000	7,000,000
当期純損益金		4,997,362	4,997,362	4,997,362	4,997,362
当期変動額合計	7,000,000	4,997,362	4,997,362	11,997,362	11,997,362
当期末残高	7,000,000	4,997,362	4,997,362	11,997,362	11,997,362

株式会社承知しました

## 個 別 注 記 表

自 令和 2 年 5 月 28 日

至 令和 3 年 4 月 30 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記	
1. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。	
II. 株主資本等変動計算書に関する注記	
1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数	7,000株
2. 当該事業年度の末日における自己株式の数	0株
3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項はありません。	
III. 一株当たり情報に関する注記	
1. 純資産額	1,713.90円
2. 当期純利益額又は当期純損失金額	713.90円